

第1学年 算数科指導案

平成29年9月27日5校時

小中野小学校1年2組(28名)

指導者 教諭 村田 慈子

1 題材名 ながさくらべ

2 題材について

(1) 教材観

本題材は、学習指導要領の内容「B 量と測定」(1)「大きさを比較するなどの活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。」の[算数的活動](1)「ウ 身の回りにあるものの長さ、面積、体積を直接比べたり、他のものを用いて比べたりする活動」を基に構成されている。初めて「長さ」「かさ」といった「量」を扱った学習を行う「B 量と測定」領域の入り口とも言える単元である。新学習指導要領では、現行「B 量と測定」が「C 測定」となり、比べる活動だけでなく、比べ方を見いだす思考力が重視されている。

(2) 指導観

長さに関する実態調査から、「曲がったもの、直線的でないもの等、長さを比較検討する経験が不足していること」「長さを見た目の印象でなんとなく判断していること」が分かった。このことから、具体的な操作や様々な方法で比較検討する場面設定の必要性を感じている。

指導にあたっては、①直接比較(直接重ね合わせる)②間接比較(媒介物を通して比較する)③任意単位による測定(基準となるもののいくつ分)と教師主導で順番に進むのではなく、児童の興味関心に合わせて選ばせたい。①～③の活動を同時に扱うことにより、長さの学習での全体像が明確になり、比べ方の類似点に気付くことができると考える。各グループを回り、「はし」「そろえる」「まっすぐ」「いくつぶん」などの比べ方のポイントを児童から引き出し、ホワイトボードに残すようにする。そこから、まとめにつなげ、測定(量の数値化)の基礎となる考え方をしっかり身に付けさせていく。

また「チャレンジ大会をしよう」という学級活動と合科的に計画することで、「どちらが長いかを比べ、勝敗がはっきり分かるようにしなければいけない」という課題に対する必要感や、「早く比べたい」という意欲を引き出したい。生活科の学習においても、紙テープを用いてアサガオの葉の長さを写し取り、成長の様子を確かめたり、誰の葉が一番大きいか友達と比べたりする活動を取り入れたい。様々な場面で比較や測定を行うことを通して、「長さ」についての感覚をより豊かにさせたい。

3 校内研究とのかかわり

研究主題 「学ぶ楽しさを感じる授業」

～自分の考えをもち、伝え合いながら共に学ぶ児童を育てる指導の工夫～

研究仮説 1. 児童の思考の流れを重視した授業を展開することにより、自分の問いをもち、解決したいという意欲をもたせることができる。

(学ぶ楽しさを感じる授業への道しるべ②導入の工夫や学習への見通しをもつことにより、学習への興味や関心が高められていたか。)

身近な物を使ったチャレンジ大会をすることで、「勝敗がはっきり分かるようにしなければいけない」という課題に対する必要感をもたせることができると考えた。

また、グループで一つのホワイトボードに書くことによって、自分の考えをより確かなものにし、自分とは違う見方や考え方に触れたりすることができ、共に学ぶ楽しさを感じさせることができると考えた。

4 本時の位置付け(5時間 本時1/5)

- ・ながさくらべ・・・3時間(本時1/3)
- ・かさくらべ・・・2時間

5 本時の指導（本時1／5）

(1) 目標 チャレンジ大会に向け、身の回りの物の長さを比べる活動に興味をもち、長さを比べる時の約束を作ることができる。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導者のはたらきかけ	評価
導入 5分	1 学習課題を確認する。	・チャレンジ大会のリハーサルであることを伝える。	
	㊦ながさをくらべるときのやくそくをかながえよう。		
		【校内研究とのかかわり】 身近な物を使ったチャレンジ大会をすることで、「勝敗がはっきり分かるようにしなければいけない」という課題に対する必要感をもたせる。 (学ぶ楽しさを感じる授業への道しるべ②)	
展開 30分	2 グループに分かれて長さ比べをする。 (前半後半に分かれる。) ○ひもひもグループ ・はしをそろえて比べればいいよ。 ・まっすぐ伸ばさないと比べられないね。 ○空き缶つみグループ ・台の高さをそろえた方がいいかな。 ・空き缶〇個で多い方が勝ち。 ○線路比べグループ ・はしをそろえて並べて、線路が長い方が勝ち。 ・線路の数を数えるのでよいのかな。	・どうすれば勝ちなのかということや気付いたことは各グループのホワイトボードに書くように話す。 ・「はしをそろえる」「まっすぐ」などの児童のつぶやきを拾い、ホワイトボードに書かせる。 ・「スタート(台)をそろえる」や「基準量(空き缶)〇個分」に気付かせる。 ・児童が長さを写し取る必要があると気付いた時のために、ひもや紙テープを準備しておく。	【評価】 身の回りの物の長さを比べる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 (観察・発言) 【関心・意欲・態度】 〈規準に達しない児童への手立て〉 ・よいつぶやきを拾い、全体を止めて紹介する。 ・モデルとなる児童と一緒に回らせる。
	3 学習のまとめをする。	・ホワイトボードの中から、共通の言葉を中心に取り上げ、まとめる。	【評価】 直接比較や間接比較、任意単位による測定の仕方を知り、長さを比べる時の約束を作ることができる。 (観察・発言) 【知識・理解】 〈規準に達しない児童への手立て〉 ・比べるポイントが書かれている各グループのホワイトボードを見るよう促す。
終末 10分	4 算数日記を書く。 ・長さを比べる時は、はしをそろえることが分かった。 ・約束ができたから、チャレンジ大会が楽しみだ。	・約束を守ってチャレンジ大会を成功させようとする意欲につなげる。	